

# 夜間学校ニュース

1987年10月30日  
西成区萩之茶屋2の  
8の9 旅路の里気付  
釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人の  
指紋押なつ拒否断固支持！  
定住外国人に市民権を

みんなでつくろう

みんなの会館

三人よれば何とかの知恵

釜ヶ崎夜間学校

毎週金曜日

夜七時より

市民館三階

日本寄場学会シンポジウム

十一月一日(日) 部落解放センター！  
午後一時～

入場  
カンパ  
700円

## 世界の中の釜ヶ崎

### 世界史の中の生を考えよう

最近の夜間学校ニュース

仲間の死を続けて

紹介し、死を恐れずにみ

つめ、より生き生きと生き

ようしと呼びかけている。

それは一見、釜ヶ崎個有

のことからであるように思

える。しかし、そうではな

い。

釜ヶ崎の状況は、世界の

いたるところにあるし、釜

ヶ崎の銭湯とも、つながっ

こいる。

それは、外国人労働者の

ことを考へばよく判る。

日本寄場学会が、十一

月一日、午後一時から、部

落解放センターで、「流動

する下層労働者」その現状

と未来」と題するシンポジ

ウムをおこなう。共通する

仲間をアジアの中にも！

寄せ場学会の人達は月曜

朝、センターに来る予定。

## 仲間の死 その6

本籍・住所・氏名不詳、

年齢45歳位(推定)の男、

身長165cm、肥満、五分刈、

左胸から上腕にかけて菊の

花の入墨、右大腿花札とく

もの葉の入墨、左環指末節

部欠損、遺留金5000円、

腕時計1個

右の者は、昭和59年8月

11日午後8時ごろ、大阪市

西成区萩之茶屋スー7-25

松竹荘スFス号室にて発見

されたもので、同月9日、

同所において死亡(死因不

詳)したものと見られる。

## その7

本籍・住所・氏名不

詳、40歳位の男子、身

長170cm、遺留金0円

右の者は、昭和58年

8月17日午後3時ごろ

大阪市西成区萩之茶屋

3丁目5番38号にて発

見されたもので、同日

時同所にて出血失血の

ため死亡したものと見

られる。

# さて、釜教の奥義とは

前回の夜間学校があった二三日は、府とのモ千代の交渉がありました。交渉に参加した人が、二人も夜間学校に顔を見せてくれました。た、モ千代以外の話も少しは出たようです。話はやはりお金から！

「要求しているのはいくらや」といっておさんまんえん「一六三万円や、去年は一六二せんひやくえん千百円やった」と

「で、むこうの返事はどうやったに」  
「はじめは去年の額を下らんようにするといい続けてたけど、最後は、はつきり上積みをすると言った」

「まだ決らんわけやな、今度はいつやるんや」と  
「市とは二八日、府とは来月五日の予定や」と

「何人くらい集まってきた」と  
「まあ四十人くらいかな」と

「いっつもよりちょっと少ないの」と  
「そうや、ヤミ印紙で手帳を取りあげられたんは何人くらいおらんやいう質問が出たけど、全部で一五〇人で、ヨソの分も入れて二〇〇の人くらいはあらし、手帳を二冊もってたとかいうのもあるらしい」と

「結局、むこうの言いは何やねん」と  
「財政が良くないいうことや、大建協はそんなに釜の労働者を使っていないと言っとる」と

「その感想は？」  
「飯場帰りやったら泊れるやろう、ずっとおる現金の人はアパートの方が安上りや、そうしたら部屋に掛軸をかけることもできるとか言いよった」と

「そんなん言うのやったら単身者用のアパートを建てたらどうやねん、言うたれ」と

「まあ冗談を言うたんや」と  
「なんかやっぱり釜へは来たくて来たわけはなないんや、事情があつて家に帰らへんのやと

「ここがええんや、ここを生きるというワリキリが要るで」と

「ふんばるには宗教が必要やと思うけどな」と

「そこで釜教がいるわけや」と  
「でその教義はなんやねん、アメリカの方では教祖が死ぬいうたら集団自殺したのがあつたけど、それくらいの説得力がないとあかんで」と

「まあ、釜の労働者こそ労働者や、天国に入るのは釜の労働者だけや、これが釜教の教義や」と

「これしかないで」と

「だいたい、自分の家の宗教をキッチリ知ってる人もそんなにあへんのとちやうかい」と

「世帯持ちとちがうというのには善悪の問題というより事実の問題や、これにおつて何が悪い、へ無縁仏をめぐすんや、というヒラキナオリがないとあかん」と

「その上での団結が必要や」と

「生」とかだまされたらあかん」と